

茅野区の名所（史跡Ⅰ）

① 御頭御社宮司社（おんとうみしゃ ぐうじしゃ）

御頭御社宮司社は諏訪大社の「摂末社」（境外の小規模な神社）で、毎年6月28日が例祭日となっています。

毎年8月27日の御射山社祭に向けて、前日に前宮を出発した御神体を乗せた神輿が御頭御社宮司社で休憩して、坂室神社で昼食をとります。



② 三輪社（みわしゃ）

三輪神社は久寿年間（1154年～1156年）に大和の国三輪村の三輪神社をこの都にお迎えしたものと伝えられ、宮川茅野・西茅野両区の「産土神」（守り神）です。

本殿は文化元年（1804）、拝殿は文政3年（1820）に建築、明治41年に改築されました。本殿の彫刻は大隈流の流れをくむ矢崎玖右衛門の代表作で檜を材とした香高い芸術作品です。



③ 鈿女神社（おかめじんじゃ）

昭和8年、当地の商業者が商売繁盛・家内安全・厄除け・縁結びの祈願のために、安曇の松川村より分社して以来、当地宮川商業会がお守りしてきました。

福の神として『おかめ様』があり、『笑う門には福来る』として、心の明るさと癒しを与えてくれます。



④ 円通山宗湖寺（えんつうざん そうこじ）

明治13年6月23日、明治天皇が巡幸された際に、宗湖庵の井戸から運んだ水を用いてお茶を差し上げました。

寛永7年（1630年）建立し、諏訪百番霊場のうち、18番札所の公印があり、境内に西国三十三番観世音が祀られています。



⑤ 念仏堂（ねんぶつどう）

諏訪100番霊場の中の18番札所。1823年に廃寺となった千松庵の仏像（大日如来・釈迦如来・観世音菩薩2体）が移され安置されています。

昭和10年代前半頃まで集会所として使われ、平成22年9月に老朽化した念仏堂を解体し、この地に新築しました。



⑥ 三山様（さんやまさま）

出羽三山は山形県の月山・羽黒山・湯殿山の総称で、修験道を中心とした山岳信仰の場として、現在も多くの参拝者を集めています。

三山それぞれの山頂に神社があり、その総称が出羽三山神社といい、三山様はその神社の分社です。



茅野区の名所（史跡Ⅱ）

7 一里塚（いちりづか） 旧甲州街道

江戸時代、旅人の目印として大きな街道の側に1里（約3.927キロメートル）毎に設置した塚（土盛り）です。

信長・秀吉が始めたと云われ、江戸幕府が旅人の便、運賃決定の目安、度量衡統一政策の一環として全国規模で設置が始まりました。茅野一里塚は江戸日本橋から数えて50番目の一里塚に当たります。



8 山の神（やまのかみ）

山に宿る神の総称であり、一般的に女神とされています。

五穀豊穡の農耕神、夫婦和合・子孫繁栄の福神として知られていますが、「祭りを怠ると祟る」「荒事を好む」等の荒神的性格の一面があります。

山の神（奥様）が怖い・・・



9 明治天皇ご休憩所跡（めいじてんのう ごきゅうけいじょ あと）

ここは、明治13年6月23日、明治天皇が巡幸された際に、御小休所に充てられた五味邸の跡です。

お供は総勢数百人とも5百人とも伝えられています。宗湖庵の井戸から運んだ水を用いてお茶を差し上げました。



10 諏訪大社道標

官幣諏訪神社参拝道の石碑で、諏訪大社への参拝道であることを案内している石碑です。

明治31年5月に設置されました。



11 貧乏神神社（びんぼうがみ じんじゃ）

災いを福に変えるプラス思考の災禍転福。飯田市の貧乏神神社の諏訪分社です。

焼味噌好きの貧乏神様は味噌見学工場（丸井伊藤商店）に降臨されました。



12 酉の蔵（とりくら）

江戸時代、諏訪藩の年貢米に倉庫及び収納所、千野村の集会所となっていました。

「千松庵」の酉（西）の方角にあることから「酉の蔵」と呼ばれ、杉材を使った「板倉式」と呼ばれる堅牢で日本の気候に適した建築方法で造られていました。



13 かんてん蔵（かんてんぐら）

この建物は、昭和の初期、岡谷に在った繭蔵を移設し、寒天倉庫として使用してきたものです。

平成21年、寒天倉庫としての役目を終えた『かんてんぐら』を多目的ホールに改築して、現在は音楽をはじめとする様々なイベントで使用しています。



茅野区の名所（公園・やすらぎの場）

① 木落とし公園（きおとし こうえん）

8本の御柱が落とされる木落とし公園からは、諏訪平が一望でき、諏訪湖越しに北アルプスの山々を臨むことができる、まさしく絶好のポイントです。

また、背後には八ヶ岳の美しく勇壮な山並みを見ることができます。



② 天神山（藤の公園）（てんじんやま ふじのこうえん）

天神山（藤の公園）は茅野区の桜の名所です。春には「茅野区桜祭り」、秋には「天神祭」が行われます。



③ やしろ夢広場（やしろ ゆめひろば）

平成27年から始まった「宮川茅野区 都市再生整備計画事業」により、茅野市が整備した都市公園です。

広場には、三輪社・おかめ神社や寒天蔵などが隣接し、区民だけでなく観光客も楽しめる広場となっています。区民祭りや「どんど焼き」もこの広場で行われます。



④ 中島公園（なかじま こうえん）

中央道の高架下に整備された「中島公園」は、区民のみなさんが憩いの場として利用しています。

公園内の遊具で遊んだり、散歩も楽しめます。草刈りは区で年間3回行っています。



⑤ 上川ポケットパーク（かみがわ ぽけっとぱーく）

川橋の架け替え工事が令和元年7月に完了し、架け替え事業の関連工事により、令和3年3月に整備されました。

茅野駅から茅野区へ入る玄関口として、八ヶ岳や木落とし公園を眺めるポケット公園として、区や商業会などのイベントの開催や御柱祭にも活用が期待できます。



⑥ ポケットパーク（宮川小学校下）

JRガード脇に整備された小さく、かわいい公園です。

宮川小学校の通学路でもあるため、生徒や歩道を利用される方々が一息つけるよう、区で草刈り等整備を行っています。



茅野区の名所周辺（その他・レジャー）

⑦ 西茅野かたくり群生地（にしちのかたくりぐんせいち）

「かたくり」は種から花が咲くまでに、最短でも7年かかります。
1年目に芽を出し、2年目～6年目は春に葉を1枚だけ出し、7年目によく
葉を2枚出して花を咲かせます。

地下茎は意外と深く、鱗茎の姿がクリの片割れに似ることから、
「片栗」の意味で名づけられました。



⑧ 鏡湖（かがみこ）

中央高原の高台に立地する別荘地の山間の小さな湖「鏡湖」。
昭和38年農業用ため池として整備されました。

年間を通じ「へら鮒釣り」（料金500/日）が楽しめます。
釣り桟橋も安全で清潔に整備されているので、子供連れでも楽しめます。
また、標高1000m、きれいな八ヶ岳の山並みが臨めます。



⑨ 上川①・宮川②（かみがわ・みやがわ）

八ヶ岳方面から諏訪湖に流れ込む一番大きい河川「上川」。
上流でいくつかの水路に分岐したり合流したり、複雑な経路をたどります。

そのなかで渓流釣りの対象となるのは、「上川」「宮川」およびそれらの
支流。これらの河川には諏訪湖に降りるアマゴが棲息し、初夏の頃、
遡上アマゴを狙うことができます。（2/16～9/30 料金1000円/日）

